

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0032

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H5・6フランジタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	H3,H4,H5,B,G6タンクエリア				2018/2/1	2018/2/1	2018/1/31		
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2017/12/15	測定者		測定器名	ICW(B)	管理番号	F1-ICWBL-13		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	保温材	B	06	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	不燃物その他	B	10	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	金属ガラ	B	01	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0006
				2018/2/1
調整後保管日時		2018年3月2日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ③	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/3/2 10:15	6 m ²			1
	2	1	不燃物その他 ③	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/3/2 10:20	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0032

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日	(金)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H5・6フランジタンクリプレイス関連工事							
	発生場所	H3,H4,H5,B,G6タンクエリア			2018/2/1	2018/2/1	2018/1/31		
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL				
	元請会社		担当者		TEL				
	線量測定年月日	2017/11/21	測定者		測定器名	ICW(B)	管理番号 F1-ICWBL-13		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	紙・ウエス類	A 01	D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	木材類	A 03	D B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4	可燃物その他	A 04	D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	5				m ²				
メ モ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0007
				2018/2/1
調整後保管日時		2018年3月2日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	3	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 10:30	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013802 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」									
	発生場所	1～4号機周辺					2018/2/14	2018/2/14	2018/2/13		
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/7	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-356		
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	アスファルトガラ	B	09	D	B	3 m ³	50 μSv/h	50 μSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
5						m ³					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0019
				2018/2/14
調整後保管日時		2018年3月2日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ⑪	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/2 8:45	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013802 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」									
	発生場所	1～4号機周辺									
	作業主管G	地下水調査グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/7	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-356			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	アスファルトガラ	B	09	D	B	2 m ³	50 μSv/h	50 μSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0020
				2018/2/14
調整後保管日時		2018年3月2日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月2日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/2 11:15	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	通用門設置エリア(構外西門周辺)における残置物の運搬委託								
	発生場所	1F構外				2018/2/20	2018/2/20	2018/2/20		
	作業主管G	廃棄物計画グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-120	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	不燃物その他	B	10	D	A	2 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2	金属ガラ	B	01	D	A	8 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0028
				2018/2/21
調整後保管日時		2018年3月2日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月2日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	金属ガラ ⑩	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/3/2 10:20	6 m ²			1
	2	2	金属ガラ ⑩	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/3/2 12:30	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0018

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	12:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1,2号機T/B屋上部雨水対策工事									
	発生場所	1,2号機T/B建屋周辺					2018/2/27	2018/2/27			
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	ICWBL($\beta + \gamma$)		管理番号	F1-ICWBL-24		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	B	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0039
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月2日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(金属ガラ)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	70 μ Sv/h	エリアX	2018/3/2 9:45	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H4エリア					2018/2/19	2018/2/17	2018/2/17	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/2/16	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物その他	A	04	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリエステル	A	02	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
3	紙・ダンボール・ウェス	A	01	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
4	木材	A	03	D	B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
5						m ²				
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0040
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年3月2日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 8:00	1.5 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリエステル	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 8:00	0.5 m ²			1
	3	1	紙・ダンボール・ウェス	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 8:00	1.4 m ²			1
	4	1	木材	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 8:00	3 m ²			1
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G1エリア				2018/2/19	2018/2/17	2018/2/17		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物その他	A	04	D	B	2 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリエステル	A	02	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	3	紙・ダンボール・ウェス	A	01	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	4	木材	A	03	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	5						m ³			
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0041
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年3月2日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月2日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/2 9:25	1.1 m ³			1
	2	1	プラスチック・ポリエステル	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/2 9:25	2 m ³			1
	4	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/2 9:25	1 m ³			1
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G1エリア				2018/2/19	2018/2/17	2018/2/17		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	可燃物その他			A 04 D B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
2	プラスチック・ポリエステル			A 02 D B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
3	紙・ダンボール・ウェス			A 01 D B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
4	木材			A 03 D B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
5					m ²					
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0042
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年3月2日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 12:30	0.1 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリエステル	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 12:30	1.3 m ²			1
	3	1	紙・ダンボール・ウェス	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 12:30	0.3 m ²			1
	4	1	木材	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 12:30	1.5 m ²			1
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事								
	発生場所	共用プール建屋内 / 3号 屋外 Rw/B西側				2018/2/19	2018/2/16	2018/2/16		
	作業主管G	設備電源グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
線量測定	線量測定年月日	2018/2/8	測定者		測定器名	ICW/ICWBL		管理番号		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無		
		①	②	③				β+γ 線量率		
	1	ケーブルドラム	B	01	D	A	7 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ²			
入 欄	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 注1: F1-ICW-154/F1-ICWBL-135									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0045
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年3月2日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブルドラム ⑩	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/3/2 8:30	7 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日	(金)	11:00	承認	審査	作成
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事					
	発生場所	土捨て場周辺2号配電線			2018/2/19	2018/2/16	2018/2/14
	作業主管G	設備電源グループ		監理員	TEL		
	元請会社			担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/1/26	測定者		測定器名	電離箱サーベイメーター	管理番号 F1-ICW-052
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無
	1	コンクリート柱	B 02	D A	3 m ²	0.01 μ Sv/h	0.01 μ Sv/h 無
	2	碍子カバー類	C 04	D A	1 m ²	0.01 μ Sv/h	0.01 μ Sv/h 無
	3	碍子類	B 10	D A	1 m ²	0.01 μ Sv/h	0.01 μ Sv/h 無
	4				m ²		
	5				m ²		
	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0046
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年3月2日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリート柱 ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/2 10:45	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012603 - 0031

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	9:30	承認	審査	作成
	作業件名	1FSFP塩分除去関連廃棄物処理委託						
	発生場所	ヤード2・3号機 Rw/B 搬入口前					2018/2/19	2018/2/19
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ			監理員		TEL	
	元請会社				担当者		TEL	
	線量測定年月日	2018/2/15	測定者		測定器名	ICW		管理番号
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
			①	②	③			$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
	1	金属ガラ	B	01	D	A	4 m ²	0.01 mSv/h
	2	カナフレックスホース	C	03	D	A	1.5 m ²	0.01 mSv/h
	3	PE管	C	04	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h
	4						m ²	
	5						m ²	
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0055
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年3月2日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/3/2 9:50	4 m ²			1
	2	1	カナフレックスホース(→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 9:30	1.5 m ²			2
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0019

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F 輸送貯蔵兼用キャスク移送作業									
	発生場所	共用プール建屋				2018/2/19	2018/2/16	2018/2/16			
	作業主管G	燃料管理グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
G	線量測定年月日	2018/2/14	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-120		
記 入 欄	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	W	A	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	可燃物その他	A	04	D	A	0.7 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4	難燃シート類	C	02	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5	難燃物その他	C	04	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0056
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年3月2日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/2 9:25	0.8 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/2 9:25	0.6 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/2 9:25	0.1 m ²			1
	4	1	難燃シート類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/2 9:25	0.8 m ²			1
	5	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/2 9:25	0.1 m ²			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6	ゴム類	C	01	D	A	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無
	7	木材類	A	03	D	A	1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無
	8							m ²					
	9							m ²					
	10							m ²					

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0056

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	ゴム類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/2 9:25	0.05	m ²			1
	7	1	木材類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/2 9:25	1	m ²			1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
		C	難燃物	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0048

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月2日	(金)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	1F2～4号機 タービン建屋滞留水浮上油回収委託(H29)									
	発生場所	1F-3号機T/B			2018/2/21	2018/2/21	2018/2/21				
	作業主管G	地下水対策グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2018/2/15	測定者		測定器名	ICS-323C	管理番号 R06009				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	紙・ウエス	A	01	W	A	2 m ²	0.02 mSv/h	0.6 mSv/h	無	
	2	難燃シート	C	02	D	A	0.5 m ²	0.02 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	3	コーキング材	B	10	D	A	0.3 m ²	0.02 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	4	段ボール	A	01	D	A	0.5 m ²	0.02 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0059
2018/2/21				
調整後保管日時		2018年3月2日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス	5 μ Sv/h	800 μ Sv/h		エリアX	2018/3/2 9:30	2 m ²			1
	2	1	難燃シート	2 μ Sv/h	80 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 9:10	0.8 m ²			2
	3	1	コーキング材 ③	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h		エリアC	2018/3/2 9:25	0.5 m ²			1
	4	1	段ボール	2 μ Sv/h	15 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 9:10	0.9 m ²			2
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012904 - 0018

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月2日	(金)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-2/3号機 PCVガス管理設備用制御盤二重化工事および同関連除却								
	発生場所	66kV開閉所補助建屋及び補助建屋周辺			2018/2/19	2018/2/19	2018/2/19			
	作業主管G	電気設備保守グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/2/6	測定者		測定器名	電離箱サーバイメーター	管理番号 F1-ICW-052			
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ	B	01	D	A	1 m ²	0.003 mSv/h	0.006 mSv/h	無
	2	紙・ウエス類	A	01	D	B	5 m ²	0.003 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3	プラスチック、ポリ、ビニール類	A	02	D	B	3 m ²	0.003 mSv/h	0.006 mSv/h	無
	4						m ²			
	5						m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0060
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年3月2日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月2日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2		ICW	F1-ICW-158	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/2 10:55	0.1 m ²			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 10:30	6.5 m ²			2
	3	1	プラスチック、ポリ、ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 10:30	0.6 m ²			2
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013202 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日	(金)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	#1カバー工事(瓦礫撤去工事)								
	発生場所	1号機周辺ヤード			2018/2/19	2018/2/19	2018/2/19			
	作業主管G	1号機建築グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/19	測定者		測定器名	電離箱	管理番号 F1-ICWBL-45			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃物：機器類	B	03	D	B	0.2 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2	不燃物：不燃物その他(エンドレス繊維玉掛)	B	10	W	B	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	3	不燃物：不燃物その他(金物付安全带)	B	10	W	B	0.01 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	4						m ²			
	5						m ²			
メモ	1) 不燃物:機器類内訳:ハイウッシャー・アスファルト散布機・ウッシャー機 2) 透明ビニール袋に防災シート類を収納しているので結露で湿気あります。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0074
				2018/2/19
調整後保管日時		2018年3月2日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物：機器類 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/2 8:25	0.2 m ²			1
	3	1	不燃物：不燃物その他(金物付安全带) ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/2 8:25	0.01 m ²			1
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用力バー工事								
	発生場所	共用プール建屋内 / 3号 屋外 Rw/B西側					2018/2/19	2018/2/19	2018/2/19	
	作業主管G	設備電源グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/2/7	測定者		測定器名	ICW/ICWBL		管理番号	注1	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	ダンボール, マスリン 他	A	01	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	木材 他	A	03	D	B	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3	難燃シート 他	C	02	D	B	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 注1: F1-ICW-154/F1-ICWBL-92										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0075
				2018/2/20
調整後保管日時		2018年3月2日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール, マスリン 他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 9:40	1.8 m ²			1
	2	1	木材 他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 9:40	2 m ²			1
	3	1	難燃シート 他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 9:40	0.4 m ²			1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月2日	(金)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Bエリア			2018/2/20	2018/2/19	2018/2/19			
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号 F1-ICWBL-133			
G記入欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	3 m ²	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有 0.2 mSv/h
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
5						m ²				
メモ	※No1については、今後コンテナ詰め予定									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0082
				2018/2/20
調整後保管日時		2018年3月2日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月2日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ	5 μSv/h	170 μSv/h	200 μSv/h	エリアP2	2018/3/2 8:40	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	Bエリア					2018/2/20	2018/2/19	2018/2/19		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-133		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	3 m ³	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				
	※No1については、今後コンテナ詰め予定										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0083
				2018/2/20
調整後保管日時		2018年3月2日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ	5 μSv/h	300 μSv/h	350 μSv/h	エリアP2	2018/3/2 9:20	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Bエリア			2018/2/20	2018/2/19	2018/2/19			
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱		管理番号 F1-ICWBL-133		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	アスファルトガラ	B	09	D	A	3 m ²	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
※No1については、今後コンテナ詰め予定										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	03	—	0084
				2018/2/20
調整後保管日時		2018年3月2日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		アスファルトガラ	5 μSv/h	100 μSv/h	150 μSv/h	エリアP2	2018/3/2 12:15	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	入退域管理施設電源多重化工事								
	発生場所	大型休憩所南側駐車場					2018/2/20	2018/2/20	2018/2/20	
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/1	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-219	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	10 m ²	0.1 mSv/h	0.1 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0088
				2018/2/20
調整後保管日時		2018年3月2日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月2日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/2 10:10	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	12:30	承認	審査	作成			
	作業件名	入退域管理施設電源多重化工事									
	発生場所	大型休憩所南側駐車場				2018/2/20	2018/2/20	2018/2/20			
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/1	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-219		
No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③						
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	10 m ²	0.1 mSv/h	0.1 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0089
2018/2/20				
調整後保管日時		2018年3月2日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月2日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/2 10:35	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013102 - 0006
-------	----------------

作業主 管 G	保管希望日時	2018年3月2日				(金)		9:00		承認	審査	作成				
	作業件名	大型土壌運搬業務委託														
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)								2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16				
	作業主管 G	廃棄物基盤グループ					監理員		TEL							
	元請会社						担当者		TEL							
記録 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/2/5		測定者				測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-74				
	No.	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の 有無		β + γ 線量率		
		①		②												③
	1	強化プラスチック複合管		B	10	D	B	1	m ²	3	μ Sv/h	3	μ Sv/h	無		
	2								m ²							
	3								m ²							
4								m ²								
5								m ²								
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。																

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号				2018/2/20	
廃2018	—	03	—		
調整後保管日時		2018年3月2日		9:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	強化プラスチック複合管 ③	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$			エリアC	2018/3/2 9:00	1 m^3			1
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0012

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	13:00	承認	審査	作成		
	作業件名	平成28年度消防設備保守点検業務委託								
	発生場所	構内自社倉庫					2018/2/20	2018/2/20	2018/2/20	
	作業主管G	建築保全・総括グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/15	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-209		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	紙・ウエス類	A	01	D	B	1.5 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
2	プラスチック・ビニール類	A	02	D	B	0.5 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
3	ウエス	A	04	W	B	0.1 m ²	0.03 mSv/h	0.035 mSv/h	無	
4	難燃シート類	C	02	D	A	0.1 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
5	機械類	B	03	D	A	0.1 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0099
				2018/2/20
調整後保管日時		2018年3月2日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 13:00	0.3 m ²			2
	2	1	プラスチック・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 13:00	0.1 m ²			2
	4	1	難燃シート類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 13:00	0.01 m ²			2
	5	1	機械類 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/2 12:55	0.01 m ²			1
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月2日	(金)	8:00	承認	審査	作成				
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事									
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (GI-14 北側)									
	作業主管G	土木保全・総括グループ	監理員	TEL							
	元請会社		担当者	TEL							
	線量測定年月日	2018/2/20	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	コンガラ	B	02	D	A	4 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
	溶接金網含む(可能な限り取り除いています) 鉄筋コンクリート 1台目 4m3										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0102
				2018/2/21
調整後保管日時		2018年3月2日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月2日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/2 8:10	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事								
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (GI-14 北側)					2018/2/20	2018/2/20	2018/2/20	
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/20	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンガラ	B	02	D	A	4 m ³	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メモ	溶接金網含む(可能な限り取り除いています) 鉄筋コンクリート 2台目 4m3									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	03	—	0103	2018/2/21
調整後保管日時		2018年3月2日		10:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年3月2日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/2 10:30	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0005

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日	(金)	12:30	承認	審査	作成				
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事									
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (GI-14 北側)			2018/2/20	2018/2/20	2018/2/20				
	作業主管G	土木保全・総括グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/20	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号				
							1F-ICWBL-14				
メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	金属ガラ	B	01	W	A	4 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5					m ²					
	溶接金網含む(可能な限り取り除いています) 金属ガラ 1台目 4m3										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0104
				2018/2/21
調整後保管日時		2018年3月2日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月2日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ ⑩	5 μ Sv/h	7 μ Sv/h		エリアC	2018/3/2 12:25	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0028

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その1】								
	発生場所	タンクヤード					2018/2/20	2018/2/20	2018/2/20	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/8	測定者		測定器名	電離箱測定器		管理番号	F1-ICW-377	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	不燃シート			① B ② 10 ③ W B	4 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
	2					m ²				
	3					m ²				
	4					m ²				
	5					m ²				
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0110
				2018/2/21
調整後保管日時		2018年3月2日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月2日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃シート③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/2 11:00	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日	(金)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	Bエリア			2018/2/21	2018/2/21	2018/2/21		
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/20	測定者	測定器名		βγ用電離箱	管理番号		
	F1-ICWBL-103								
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	40 m ³	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			
メモ	55×2台×4回転=40m3 8:00、9:00、10:00、12:00								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0125
				2018/2/21
調整後保管日時		2018年3月2日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月2日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2018/3/2 8:50	5 m ³			1
1	2	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2018/3/2 8:50	5 m ³			1
1	3	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2018/3/2 9:25	5 m ³			1
1	4	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2018/3/2 9:25	5 m ³			1
1	5	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2018/3/2 10:05	5 m ³			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6					m ²							
	7					m ²							
	8					m ²							
	9					m ²							
	10					m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0125

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	6	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/3/2 10:05	5	m ²			1
	1	7	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/3/2 12:20	5	m ²			1
	1	8	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/3/2 12:20	5	m ²			1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C 難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D 伐採木	01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
			②				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0017								
作業主管理G記入欄	保管希望日時		2018年3月2日		(金)	11:00		承認	審査	作成								
	作業件名		タンク減容・保管委託(H29)															
	発生場所		定検機材倉庫A						2018/2/21	2018/2/21	2018/2/20							
	作業主管G		貯留設備グループ				監理員	TEL										
	元請会社						担当者	TEL										
線量測定年月日		2017/10/6		測定者				測定器名	F1-ICWBL		管理番号	189						
G記入欄	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率						
		①	②	③														
	1	フランジタンク片天板 (T170031)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無								
	2	フランジタンク片天板 (T170033)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無								
	3	フランジタンク片天板 (T170034)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無								
	4	フランジタンク片天板 (T170041)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無								
5	フランジタンク片天板 (T170044)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無									
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。																		
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.				
	1	1	フランジタンク片天板 (T170031)		2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/2 11:00	21 m ²		T170031	1					
	2	1	フランジタンク片天板 (T170033)		2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/2 11:00	21 m ²		T170033	1					
	3	1	フランジタンク片天板 (T170034)		2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/2 11:00	21 m ²		T170034	1					
	4	1	フランジタンク片天板 (T170041)		2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/2 11:00	21 m ²		T170041	1					
	5	1	フランジタンク片天板 (T170044)		2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/2 11:00	21 m ²		T170044	1					
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載																		
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
				01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
				01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
		②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																		
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																		
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																		

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③										
	6	フランジタンク片天板 (T170055)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
	7	フランジタンク片天板 (T170068)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
	8	フランジタンク片天板 (T170074)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
	9	フランジタンク片天板 (T170078)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
	10	フランジタンク片天板 (T170081)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無		

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0135

保管 実績 記録 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	フランジタンク片天板(T170055)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/2 11:00	21	m ³		T170055	1
	7	1	フランジタンク片天板(T170068)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/2 11:00	21	m ³		T170068	1
	8	1	フランジタンク片天板(T170074)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/2 11:00	21	m ³		T170074	1
	9	1	フランジタンク片天板(T170078)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/2 11:00	21	m ³		T170078	1
	10	1	フランジタンク片天板(T170081)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/3/2 11:00	21	m ³		T170081	1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0044

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	配管信頼性向上対策関連								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内					2018/2/21	2018/2/21	2018/2/21	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者		測定器名	ICS-323C		管理番号	R06009	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	B	1.5 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2	不燃物その他	B	10	D	B	1.5 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0149
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年3月2日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月2日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/2 12:05	1.5 m ²			1
	2	1	不燃物その他③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/2 12:05	1.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H6タンクエリア									
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者			測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	W	B	1 m ²	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	3	可燃その他	A	04	D	B	3 m ²	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	4	金属ガラ	B	01	D	B	4 m ²	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	5	不燃その他	B	10	D	B	3 m ²	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
メ モ	【線量測定結果反映】8m3コンテナ2基分 (No.41,42)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0150
				2018/2/26
調整後保管日時		2018年3月2日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月2日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	15 μSv/h	30 μSv/h	45 μSv/h	エリアW1	2018/3/2 8:45	10 m ²		B0014	1
	1	2	10m3コンテナ	15 μSv/h	15 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2018/3/2 8:45	10 m ²		A0141	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月2日	(金)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Bエリア			2018/2/22	2018/2/22	2018/2/22			
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/2/20	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号 F1-ICWBL-103			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	電線管			① B 05 ② D ③ A	4 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2					m ²				
	3					m ²				
	4					m ²				
	5					m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0170
				2018/2/22
調整後保管日時		2018年3月2日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	電線管 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/2 8:40	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0024

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月2日	(金)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H3エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H3			2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-77		
G	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B 02	D A	10 m ³	0.01 mSv/h	0.001 mSv/h	β 有	0.01 mSv/h	
	2	鋼製堰	B 01	D A	1 m ³	0.01 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h	
	3				m ³					
	4				m ³					
入	5				m ³					
	8m3コンテナ2基分(No28、29)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0203
				2018/2/28
調整後保管日時		2018年3月2日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	15 μ Sv/h	15 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/2 11:35	10 m ³		OK-0129	1
	1	2	10m3コンテナ	15 μ Sv/h	15 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/2 11:35	10 m ³		B0066	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012321 - 0004		
作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月1日		(木)	10:30		承認	審査	作成			
	作業件名	通用門設置エリア(構外西門周辺)における残置物の運搬委託										
	発生場所	1F構外					2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16			
	作業主管G	廃棄物計画グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-120		
G	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③								
	1	コンテナ	B	10	D	A	50 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
	2						m ²					
	3						m ²					
	4						m ²					
5						m ²						
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 不明物品扱い											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0004
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年3月1日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月1日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンテナ ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/1 9:50	35 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0004

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月1日		(木)	13:00	承認	審査	作成		
	作業件名	通用門設置エリア(構外西門周辺)における残置物の運搬委託								
	発生場所	1F構外			2018/2/16	2018/2/16	2018/2/16			
	作業主管G	廃棄物計画グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-120		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンテナ	B	10	D	A	50 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メ モ	注: α 有、 $\beta \cdot \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 不明物品扱い									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	03	—	0005
				2018/2/16
調整後保管日時		2018年3月1日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月1日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンテナ ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/1 11:40	50 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0034

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1～4号機H2エリアタンク設置							
	発生場所	H4エリア北側(GN-25東)					2018/2/19	2018/2/19	2018/2/19
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/19	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-375	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無
1	紙・ウエス類			① 01 D B	0.5 m ²	0.003 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02 D B	4.5 m ²	0.003 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	可燃物その他			A 04 D B	0.3 m ²	0.003 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4					m ²				
5					m ²				
メモ	「回収」								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0009
				2018/2/20
調整後保管日時		2018年3月2日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年3月2日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 9:40	0.5 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 9:40	3.8 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 9:40	0.3 m ²			1
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0034

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月2日		(金)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1～4号機H2エリアタンク設置								
	発生場所	H4エリア北側(GN-25東)					2018/2/19	2018/2/19	2018/2/19	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/19	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-375
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	木材類	A	03	D	B	3 m ²	0.003 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	可燃物その他	A	04	D	B	2 m ²	0.003 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
「回収」										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0010
				2018/2/20
調整後保管日時		2018年3月2日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月2日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 9:30	1 m ²			1
	2	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/2 9:30	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
				D:乾燥, W:湿気有				A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0004

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月23日		(金)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F1～4号機建屋内浄化設備設置								
	発生場所	1F構内		事務所 (GT-19東)		2018/2/21	2018/2/21	2018/2/21		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	ICWBL-135	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物(プラ ポリ ビニール類)	A	02	D	A	5 m ²	0.003 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0011
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月1日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年3月1日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(プラ ポリ ビニール類)	2 μ Sv/h	10 μ Sv/h		エリアO	2018/3/1 10:30	5.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月23日		(金)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F1～4号機建屋内浄化設備設置								
	発生場所	1F構内		事務所 (GT-19東)			2018/2/21	2018/2/21	2018/2/21	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	ICWBL-135		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	可燃物(プラ ポリ ビニール類)			A 02 D A	3 m ²	0.003 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2					m ²					
3					m ²					
4					m ²					
5					m ²					
メ モ	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0014
				2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月1日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年3月1日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(プラ ポリ ビニール類)	2 μSv/h	5 μSv/h		エリアO	2018/3/1 10:50	1.9 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013706	-	0006
-------	---------	---	------

作業主 主 管 G	保管希望日時	2018年2月27日		(火)	10:30		承認		審査		作成						
	作業件名	1F1～5号機建屋内浄化設備設置のうち干渉物撤去・同関連除却															
管	発生場所	1F構内		事務所 (GT-19東)				2018/2/21		2018/2/21		2018/2/21					
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員				TEL							
G	元請会社					担当者				TEL							
	線量測定年月日	2018/2/16		測定者		測定器名		ICWBL		管理番号		ICWBL-135					
記入欄	No.	保管物名			※カテゴリ			物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率	
					① ② ③												
	1	可燃物(紙 ウェス類)			A 01 D A			5 m ²		0.003 mSv/h		0.01 mSv/h		無			
	2	可燃物(その他)			A 04 D A			2 m ²		0.003 mSv/h		0.01 mSv/h		無			
	3							m ²									
	4							m ²									
欄	5							m ²									
メモ	回収																

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	03	—	0015	
					2018/2/23
調整後保管日時		2018年3月1日			10:30
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年3月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(紙 ウェス類)	2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$			エリアO	2018/3/1 10:50	4.1 m^3			1
	2	1	可燃物(その他)	2	$\mu\text{Sv/h}$	4	$\mu\text{Sv/h}$			エリアO	2018/3/1 10:50	1.5 m^3			1
												m^3			
												m^3			
												m^3			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0044

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月1日	(木)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	配管信頼性向上対策関連							
	発生場所	Dエリア堰内 (GQ-17 南東)			2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26		
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL				
	元請会社		担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者		測定器名	Naシンチレーター	管理番号		
							F1-SC-131		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	ビニール類	A 02	D B	4 m ²	0.006 mSv/h	0.006 mSv/h	無	
	2	紙類	A 01	D B	0.5 m ²	0.006 mSv/h	0.006 mSv/h	無	
	3				m ²				
	4				m ²				
5				m ²					
メ モ	回収								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0021
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月1日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/1 11:30	1 m ²			1
	2	1	紙類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/1 11:30	0.7 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票											計上No. 6013708 - 0044	
作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月1日		(木)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	配管信頼性向上対策関連										
	発生場所	G3東エリア堰内 (GQ-17 南東)						2018/2/26	2018/2/26	2018/2/26		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者			測定器名	Naシンチレーター	管理番号	F1-SC-131			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	ビニール類			A	02	D	B	4 m ²	0.006 mSv/h	0.006 mSv/h	無
	2	紙類			A	01	D	B	0.5 m ²	0.006 mSv/h	0.006 mSv/h	無
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
メ モ	回収											

固体廃棄物管理G記入欄											受付
受 付 番 号											
高2018	—	03	—	0022	2018/2/27						
調整後保管日時				2018年3月1日				11:30			
【保管時の指示事項等】											
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。											

線量測定内容										
測定日	2018年3月1日									
測定No.	氏名	測定器	管理番号							
1		ICW	F1-ICW-158							
2										
3										
4										

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	紙類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/1 11:30	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0044

作業 主 管 G 記 入 欄 × モ	保管希望日時	2018年3月1日		(木)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	配管信頼性向上対策関連								
	発生場所	G3西エリア堰内 (GQ-17 南東)						2018/2/26	2018/2/26	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者		測定器名	Naシンチレーター	管理番号	F1-SC-131		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	ビニール類	A	02	D	B	4 m ²	0.006 mSv/h	0.006 mSv/h	無	
2	難燃シート類	C	02	D	B	0.2 m ²	0.006 mSv/h	0.006 mSv/h	無	
3	ウレタンフォーム	C	04	D	B	0.3 m ²	0.006 mSv/h	0.006 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
×	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	03	—	0023
				2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月1日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年3月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 ×	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/1 11:20	4.4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
×	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載											
×												
×												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履 歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No.		6013502 - 0001												
作業主管理 G 記入欄 メモ	保管希望日時		2018年3月1日			(木)		9:00		承認		審査		作成										
	作業件名		構内所在不明物品の片付け業務委託																					
	発生場所		土捨て場						2018/2/27		2018/2/27		2018/2/27											
	作業主管G		工事基盤整備グループ				監理員		TEL															
	元請会社						担当者		TEL															
	線量測定年月日		2018/2/23		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		F1-ICWBL-73									
	No.		保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率							
			①		②		③																	
	1		不燃物その他		B 10		D A		6 m ²		0.005 mSv/h		0.005 mSv/h		β 有		0.015 mSv/h							
	2		可燃物その他		A 04		D A		6 m ²		0.005 mSv/h		0.005 mSv/h		β 有		0.015 mSv/h							
3								m ²																
4								m ²																
5								m ²																
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 6m3コンテナ2基																								
保管実績記入欄 メモ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		不燃物その他		6 μ Sv/h		13 μ Sv/h		13 μ Sv/h		エリアX		2018/3/1 9:10		6 m ²				ZK-00947		1	
	2		1		可燃物その他		6 μ Sv/h		9 μ Sv/h		9 μ Sv/h		エリアX		2018/3/1 9:10		6 m ²				ZK-00968		1	
																	m ²							
																	m ²							
																	m ²							
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
上記の保管物は6m3コンテナ2基に分けて収納																								

固体廃棄物管理G記入欄					受付	
受 付 番 号						
高2018	—	03	—	0041	2018/2/27	
調整後保管日時		2018年3月1日			9:00	
【保管時の指示事項等】						

線量測定内容			
測定日	2018年3月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013502 - 0001																																																																																																							
作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月1日		(木)	9:00		承認	審査	作成																																																																																																								
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託																																																																																																															
	発生場所	土捨て場						2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27																																																																																																							
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員	TEL																																																																																																										
	元請会社					担当者	TEL																																																																																																										
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/2/23		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-73																																																																																																						
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β + γ 線量率																																																																																																								
		①	②	③																																																																																																													
	1	金属ガラ	B	01	D	A	20 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無																																																																																																							
	2	機器類・制御盤類	B	03	D	A	2 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無																																																																																																							
3	土砂類	B	04	D	A	5 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無																																																																																																								
4	塩化ビニール類	B	05	D	A	2 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無																																																																																																								
5	ケーブル類	B	08	D	A	1 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無																																																																																																								
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																																																																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2018年3月1日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="2">F1-ICWBL-55</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="2">F1-ICWBL-120</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容					測定日	2018年3月1日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICWBL	F1-ICWBL-55		2		ICWBL	F1-ICWBL-120		3					4																																																																							
線量測定内容																																																																																																																	
測定日	2018年3月1日																																																																																																																
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																														
1		ICWBL	F1-ICWBL-55																																																																																																														
2		ICWBL	F1-ICWBL-120																																																																																																														
3																																																																																																																	
4																																																																																																																	
保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																																					
	1	1	金属ガラ ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/1 9:00	3 m ²			1																																																																																																					
	1	2	金属ガラ ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/1 9:35	3 m ²			1																																																																																																					
	2	1	機器類・制御盤類 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/1 9:55	1 m ²			1																																																																																																					
	4	1	塩化ビニール類 (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/1 11:30	1 m ²			2																																																																																																					
5	1	ケーブル類 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/1 9:55	1 m ²			1																																																																																																						
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="13">※カテゴリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">①</td> <td rowspan="6">A</td> <td rowspan="2">可燃物</td> <td>01</td> <td>紙・ウェス類</td> <td>02</td> <td>プラスチック・ポリ・ビニール類</td> <td>03</td> <td>木材類</td> <td>04</td> <td>可燃物その他</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>—</td> <td>07</td> <td>—</td> <td>08</td> <td>—</td> <td>09</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">B</td> <td rowspan="3">不燃物</td> <td>01</td> <td>金属ガラ</td> <td>02</td> <td>コンクリートガラ</td> <td>03</td> <td>機器類・制御盤類</td> <td>04</td> <td>土砂類</td> <td>05</td> <td>塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>保温材</td> <td>07</td> <td>石綿含有物</td> <td>08</td> <td>ケーブル類</td> <td>09</td> <td>アスファルトガラ</td> <td>10</td> <td>不燃物その他</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>フランジタンク本体</td> <td>12</td> <td>フランジタンク付属品</td> <td>13</td> <td>—</td> <td>14</td> <td>—</td> <td>15</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">C</td> <td rowspan="3">難燃物</td> <td>01</td> <td>ゴム類</td> <td>02</td> <td>難燃シート類</td> <td>03</td> <td>ホース類</td> <td>04</td> <td>難燃物その他</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D</td> <td rowspan="2">伐採木</td> <td>01</td> <td>伐採木(幹・根)</td> <td>02</td> <td>伐採木(枝・葉)</td> <td>03</td> <td>—</td> <td>04</td> <td>—</td> <td>05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>01</td> <td>状態</td> <td>D:乾燥, W:湿気有</td> <td>③</td> <td>履歴</td> <td colspan="4">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> </tr> </tbody> </table>													※カテゴリ													①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	01	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			
※カテゴリ																																																																																																																	
①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																																																																																					
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																																																																																					
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																																																																																				
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																																																				
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																																																																																				
			C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																																																			
	D				伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																																		
						01	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																						
	注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。																																																																																																																

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013502 - 0001		
作 業 主 管 入 欄	保管希望日時		2018年3月1日		(木)		9:00		承認	審査	作成	
	作業件名		構内所在不明物品の片付け業務委託									
	発生場所		土捨て場							2018/2/27	2018/2/27	2018/2/27
	作業主管G		工事基盤整備グループ				監理員		TEL			
	元請会社						担当者		TEL			
線量測定年月日		2018/2/23		測定者				測定器名		ICWBL		
								管理番号		F1-ICWBL-73		
No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		
										表面線量率		
										β・α 汚染の 有無		
										β + γ 線量率		
1		紙・ウエス類			A 01 D A			2 m ²		0.005 mSv/h		
2		プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02 D A			2 m ²		0.005 mSv/h		
3		木材類			A 03 D A			3 m ²		0.005 mSv/h		
4		可燃物その他			A 04 D A			3 m ²		0.005 mSv/h		
5		ホース類			C 03 D A			1 m ²		0.005 mSv/h		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号					
高2018	—	03	—	0043	2018/2/27
調整後保管日時		2018年3月1日		9:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年3月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
実 績 記 入 欄	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/1 11:30	0.1 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/1 11:30	1.5 m ²			1
	3	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/1 11:30	2 m ²			1
	4	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/1 11:30	0.5 m ²			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—				
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。